

東京の大学を知ろう!(Ⅲ)

～シリーズ:大学について知ろう(その12)～

日本にあるキリスト教系大学のことを「ミッション系大学」と呼んでいます。日本全体でどのくらいあるかというと、プロテスタント系が56大学、カトリック系が20大学もあるのです。そのミッション系の中でも頂点に君臨するのが頭文字をつなげて「JAR」(ジャル)と呼ばれている東京にある3大学です。すなわち、四ツ谷駅すぐ近くの(1)大学と、渋谷や表参道に近い(2)大学と、池袋駅近くの(3)大学で、いずれも都心に瀟洒なキャンパスを持ち女子高生に絶大な人気を誇っているのです。ちなみに(1)はカトリック系、(2)(3)はプロテスタント系です。

それ以外の人気ミッション系大学としては、カトリック系だとセレブが住む街として知られる渋谷区広尾にある(4)大学(上皇后美智子さまの母校だ!)、プロテスタント系だとJR中央線西荻窪駅(吉祥寺の一つ手前)が最寄り駅の通称「トンジョ」と呼ばれる(5)大学や、三鷹市にあるアメリカンタイプの大学で秋篠宮家の眞子さま・佳子さまの母校である(6)大学、高級住宅街の港区白金台にあり1863年へボン博士の開校した英学塾にはじまる(7)大学などが有名。また、関西では京都市にある新島襄ゆかりの(8)大学や、兵庫県西宮市にありアメリカンフットボールの強豪校として知られる(9)大学などがミッション系として有名です。それぞれ個性豊かな大学なので皆さんに紹介したいのですが、今回は(2)大学を取り上げましょう。

※上記の()の答… ①カトリック系 ②③プロテスタント系 ④上皇后美智子さまの母校 ⑤吉祥寺の手前 ⑥眞子さま・佳子さまの母校 ⑦英学塾 ⑧新島襄ゆかり ⑨アメリカンフットボールの強豪校

以下の文章は6年前(2014年)に私が青山学院大学の説明会に行ったときのことを書いたものです。東京を代表する私立大の一つ「アオガク」の雰囲気はこの紙面で少しだけ味わってくださいな。

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

青山学院大学に行ってきました…

私の頭の中にはサザンのあの名曲が鳴り響く! ♪胸に残るいとしい人よ 飲み明かして たつかしい時 Oh,oh 秋が恋をせつなくすれば ひとり身のキャンパス 涙のチャペル ああ、もうあの頃のことは夢の中へ 知らぬ間に遠く Years go by ♪ … 電車に乗っている時から私の頭の中ではサザンの名曲が鳴り響いていました(サザンオールスターズって青学の学生が組んだバンドだって知ってましたか?)。歌に出てくる「キャンパス」、そして「チャペル」に思いを馳せながら、地下鉄の表参道駅を出ると徒歩5分で青学到着です。ちなみにJRだと渋谷駅を降りて徒歩10分。NHKだって原宿だって六本木だってみ～んな近い、東京の中でも超一等地に青学は存在するのです。



正門から続く銀杏並木。一番奥にクリスマスツリーがある

青山キャンパスは文系のみ! この青学はメソジスト系キリスト教(とても真面目なプロテスタントの一派)の大学で、その源流である女子小学校が創設されてから今年で140周年。同じメソジスト系の大学としては

関西学院大学や東洋英和女学院大学などがあります。キャンパスは青山のほかに相模原がありますが、一昨年から文・教育人間科学・経済・経営・法・国際政治経済・総合文化政策の文系7学部は4年間青山キャンパスで過ごすことになりました(それまでは新入生は全員が相模原だったのです)。なお、相模原には理工と社会情報の理系学部2つがあります(注:その後、2015年に地球社会共生学部が、さらに2019年にコミュニティ人間科学部がそれぞれ相模原キャンパスに誕生しました)。さて、正門を入るとまっすぐ銀杏並木が並び、その両側にはベンチが並んでいます。そして、一番奥の方にはクリスマスツリーの姿が…桑田佳祐もこの路を歩きながら青春を過ごしたんだ…などと感慨にふけりながら学生食堂を探します。

イチナナで人気の定食を食す! 2年前に出来たピカピカの17号館の1階には1000座席ぐらいある学食(愛称イチナナ)があります。午後2時過ぎに到着したので空いています(16000人の学生がいる青山キャンパスでは昼食時だとめちゃ込みらしい)。この学食は食券方式なのですが、“ヘルシー&ベジタブルをテーマにした週替わり定食が人気”という情報を入手していた私は、食券販売機でその定食を探します…。ありました!「表参道」というオシャレなネーミングの定食です(410円)。中身も「ポーク生姜焼き&ベジタブルピラフ&エビカツ(タルタルソース)」という、いかにも青春らしいオシャレな内容で私にピッタリ?です。さっそく購入した食券を厨房のお姉さんに出すと、すでに盛りつけられている定食の皿とピラフ&味噌汁が出てきます。さて、お味は…ちょっと生姜焼きの味付けが濃いけれど、美味。エビカツはタルタルソースがこれでもかっ!とかかっています。なんととっても皿の中にはキャベツを中心としたサラダも付いているのが嬉しい。これで410円は安い!というわけで大満足でした。



オシャレな定食「表参道」はコストパフォーマンスも優れる!

説明会の内容はともかく、アオガクは女子学生多し、そしてみんなオシャレ! いよいよ説明会です。場所は17号館6階にある本多記念国際会議場。学長挨拶、副学長による大学改革の話。そして「地球社会共生学部」の話…やっぱり教授達ってそんなに話が上手くないなあ…。その後、学生二人による学生生活の紹介があり(二人ともパワーポイントによる説明が教授達よりも上手い!)、進路・就職支援についての説明があり、さらに入学試験の概要についての説明もまぶたを閉じてしっかり聴きました。説明会の後は、文学部3



青学のシンボル「間島記念館」は国登録有形文化財!ギリシア風コロント様式のすてきな建物です

年のカワイイ女子大生の案内によるキャンパスツアーです。決して広くはないキャンパスですが、新しい17号館を中心に個性的な建物が配置され(何と言っても一番奥にある間島記念館の外観は必見)、木陰のベンチで語り合う学生達はみな楽しそうです。ところで、青学で見かける学生は女子の方が圧倒的に多く(今年の入学生の女子比率は49%、ただし文系の青山キャンパスに限ると6割近くが女子)、しかもみんなオシャレです(ケバいいのではなくファッショナブルなのです!)。ただ、男子学生もオシャレなのですが、こちらはちょっとチャライ感じがするのは私の偏見でしょうか?!

さて、今回のお土産は? ツアーの後、息子への青学グッズ土産を購入するために1号館にある購買会へ(青学には生協がなく、購買会という組織があるらしい)。「腹っぺらし伸び盛り中学生の息子」には食べ物しかない!というわけで、彼が大好きな和菓子を探しますが、残念ながらチョコレートしかありません。しかも、濃い緑色の包装紙に包まれたチョコレートはメリーの製品で1300円もします。しかし土産となる食品はこれしかないで仕方なく購入し、帰宅後自信満々で見せると「わーい、メリーのチョコだ!」と飛びついていたのはカミさんの方。息子は包装紙を見て「やっぱり緑なんだ!」と変なところに感動。箱根駅伝好きの息子はTV中継を見て青学のタスキがスクールカラーの緑色だったことを覚えていたのでした…。